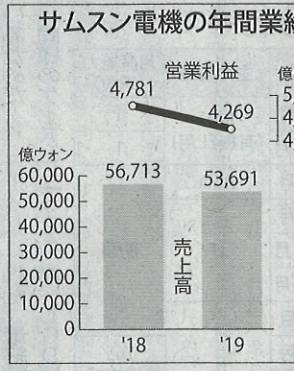


金、引去らる。車載半導体市場は、主にRF基盤事業を断念する意向だ。RF基盤は、主にフレキシブル有機ELパネルに採用し、ディスプレイとメイン基板を接続する用途に使われる。同社のRF基盤は、系列会社のサムスンディスプレイを経て、



も含めたこれらの市場向け売り上げは約35%である。自動車や産業用市場向けではパワーデバイスやディスプレイ、センサーなどがある。特にセンサーは車載、産業用MEMSやイメージセンサーに注力し、組立、テストを一貫提供できることが評価されている。

●中興化成工業
フッ素樹脂採用のフレキシブル銅張積層板
中興化成工業(株)(東京都港区赤坂2-11-7、03-6230-4414)は、銅張積層板「チョコロ」の新規開発品として、フッ素樹脂を用いたフレキシブルな銅張積層板2品種を開発した。5GやBeyond 5Gに向けた最先端の通信端末・通信基地局や、安全・安心機能を実現する自動車用レター

インタビュー



シンガポールに本拠を置くOSAT、UTAC (日本人) 東京都下京区中堂寺栗田町93、075-9683-6255

UTAC
シニア・バイスプレジデント 日本法人責任者
兼マーケティング・事業開発担当
アシフ・チョードリー 氏

20年は15%成長見込む

〇は、日本におけるビジネス拡大を目指している。車載半導体における豊富な実績や、パナソニックから取得した工場から学んだ高度な品質管理

分野で、テキサス・インスツルメンツ(TI)やアナログ・デバイスなど世界の大手半導体メーカーから製造を受託している。アナログ製品は売り上げの50%を占めており、ほかにもミックスドシグナルやロジックデバイスを手がけている。また、パ

波への対応を目指し、基地局用のキャビティパッケージを開発している。また、テストでもテスターメーカーと協業してより高周波に対応し、コスト力のあるテスト技術の開発を進める。

ある価格が提供できる。タイの工場には日本語に対応可能なエンジニアが常駐しており、人員を増やして対応力を強化する方針だ。また組立とテストを分離せずに受託することで、お客様にコストメリットを提供できる。組立やテスト能力にも積極的に投資する方針で、増加する需要にも対応できる。日本の顧客を拡大していくうえで信頼関係を築くことが重要で、時間をかけて長く付き合える関係を構築したい。

車載中心に日本市場拡大

ノウハウを武器に、新規顧客開拓を図る。同社シニア・バイスプレジデントで、日本法人責任者兼マーケティング・事業開発担当のアシフ・チョードリー氏に話を聞いた。

自動車市場では世界トップ3の地位を持つ。車載半導体に求められるプロセス、品質を実現し、欧米や日本の自動車メーカー、部品メーカーに提供している。また、産業用や医療用半導体も重点分野としており、自動車

に、全検査のハンズフリー化を目指す。また、シンガポール工場ではファインアウトやプラズマダイシング、ウェハーレベルCSPやSiPなど新規パッケージの開発に取り組み、それらの自動化も図っている。今後3~4年以内に関係した自動化技術を開発し、全工場の自動化を目指す方針だ。

日本の顧客開拓への強みと今後の目標を。アシフ 日本の顧客の品質に対する要求は厳しいが、当社はマネジメンが日本人のマインドを良く理解している。コストに関してはタイ工場などの安定したローコスト(聞き手・中村剛記者)

自動車市場では世界トップ3の地位を持つ。車載半導体に求められるプロセス、品質を実現し、欧米や日本の自動車メーカー、部品メーカーに提供している。また、産業用や医療用半導体も重点分野としており、自動車

自動車市場では世界トップ3の地位を持つ。車載半導体に求められるプロセス、品質を実現し、欧米や日本の自動車メーカー、部品メーカーに提供している。また、産業用や医療用半導体も重点分野としており、自動車

自動車市場では世界トップ3の地位を持つ。車載半導体に求められるプロセス、品質を実現し、欧米や日本の自動車メーカー、部品メーカーに提供している。また、産業用や医療用半導体も重点分野としており、自動車

自動車市場では世界トップ3の地位を持つ。車載半導体に求められるプロセス、品質を実現し、欧米や日本の自動車メーカー、部品メーカーに提供している。また、産業用や医療用半導体も重点分野としており、自動車